

第6学年 社会科学習指導案

1 単元名 「新しい日本，平和な日本へ」（東京書籍上）

2 単元について

- 本単元は，学習指導要領内容の(1)ケ「日華事変，我が国にかかわる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピックの開催などについて調べ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること」を受けて設定したものである。上記の指導内容を理解し，平和で民主的な国家・社会の一員として，これからの日本の課題やよりよい発展について考えようとする態度を養うことをねらいとする。

戦後，日本は民主主義国家を目指し，軍隊の解散，財閥解体，新憲法の制定をはじめとする戦後改革とよばれる多くの改革を行った。また，サンフランシスコ平和条約を結ぶことで国としての主権を回復し，国際連合加盟を果たし，再び国際社会に復帰することができた。国際社会に復帰した日本は産業を急速に発展させる。そのことで，国民生活は向上し，「三種の神器（白黒テレビ・電気冷蔵庫・電気洗濯機）」と呼ばれる家電製品が家庭に広まっていった。このような復興を遂げたのは，政府や国民の不断の努力があったからである。

また，東京オリンピックや大阪万博の開催により，国内外に日本が戦後復興を成し遂げたことをアピールすることとなった。しかし，このような高度経済成長の陰で，様々な問題が発生した。第一に，「四大公害」をはじめとする環境問題である。第二に，都市部への大量人口移出による都市部の過密化や農村部の過疎化である。このような，戦後復興の負の部分にも気付かせ，「これからの日本」を考えさせ，獲得した知識を基に今後の日本の在り方を探っていく学習は，社会的な思考力・判断力・表現力を育成していくことに適したものと考えられる。

- 本学級の児童は，これまでの学習において歴史的資料から問いを設定し，問いを追究していくという学習形態を多く経験してきた。その中で歴史的人物の行った政策に焦点を当て，その政策が当時の社会の中でどのような役割を果たしてきたのかという意味付けを行ってきた。しかし，歴史的な事象を関連付け，政策の意図を読み取ることは，多くの児童が苦手としているところである。また，事前の調査によると，歴史学習が好きであると答えた児童は約6割程度にとどまっており，用語や人物名を理解したり，複数の資料から読み取ったことを関連付けたりすることに抵抗を感じている児童は少なくない。よって，児童が資料から読み取った事象を整理し，対立する2つの価値が明確になるための手立てが必要である。
- 指導にあたっては，まず，学徒出陣と東京オリンピックの開会式，終戦直後，1960年代の新宿の写真と比較させることで，わずかな期間で復興できたことに驚きをもたせ，「どのようにして日本は戦後から立ち直っていったのだろうか」という学習課題を設定したい。

その後，民主主義国家を目指し，諸改革を行ったこと，日本国憲法が制定されたこと，サンフランシスコ平和条約締結，国際連合加盟を通して国際社会に復帰することができたこと，高度経済成長の中，国民生活が向上したり，政府や企業の成長戦略によって産業が更に発展したりしたことについて調べさせる。

本時では，特に，戦後復興，高度経済成長を後押しした東京オリンピックに目を向けさせ，東京オリンピック開催を含む高度経済成長がもたらした功罪について考えさせる。「なぜ戦後間もない時期に東京でオリンピックを開催しようとしたのか」という問いを児童に投げ掛け，その中で，「新幹線や地下鉄，首都高速道路開業によって利便性を高めた」，「東京の公衆衛生を整え，住みやすい街にした」，など，東京オリンピック開催がもたらしたものに気付かせる授業を展開していきたい。一方で，急速な変革を求めた結果，交通事故や大気汚染など諸問題が起きたことにも気付かせ，オリ

オリンピックを開催したことはよかったのかという課題意識を児童にもたせたい。そして「戦後19年目に東京オリンピックを開催したことは日本にとってよかったのか」という論題を設定し、それまでに獲得した知識（オリンピック開催に伴うよい影響や問題点）を用いながら論題に対する自分の考えを構築させ、クラスで議論していく。その中で、社会事象に対する多面的な見方を養わせていきたい。その後、2020年に再びオリンピックが開催されることに触れ、「2020年東京オリンピックはどんなオリンピックにするべきか」という学習問題をもたせる。今後のオリンピックをどう開催すればよいのか考えさせる中で、これからの日本や世界像を描かせていきたい。

2020年の東京オリンピック像を考えさせるに当たっては、現代日本が抱える諸課題について触れさせ、諸外国と協力して解決していかなければならないことが山積していることを実感させていきたい。

3 単元の目標

戦後の諸改革、国際社会への復帰、高度経済成長がもたらしたものについて、歴史的な事象を意味付ける活動を通して歴史概念を獲得するとともに、当時の人々の立場に立ってオリンピック開催の是非について議論を行い、様々な立場や視点から多面的に今後の日本の在り方を考えるようにする。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
○戦後の歩みに関心を持ち、進んで調べようとしている。 ○平和で民主的な国家の一員として、これからの日本の課題やよりよい発展について考えようとしている。	○戦後、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことや、現代が抱える諸問題について思考・判断したことを、言語などで適切に表現している。	○日本国憲法の制定、オリンピックの開催など、我が国の戦後の歩みについて、地図や年表、資料集、その他の資料を活用して必要な情報を集めて読み取りたりまとめたりしている。	○戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。

5 単元計画（全10時間 本時7/10）

過程	主な学習活動(○)	教師の働き掛け(○)	【主な評価】(・)	時配
学習問題を つかむ	○学徒出陣と東京オリンピック、終戦直後と高度経済成長期の新宿の写真を見比べ、戦争が終わった後の社会の変化に関心を持ち、学習問題を設定する。	○写真を比較させる際、人々の雰囲気や表情、服装、周りの情景に着目させることで、東京オリンピックまでに日本はどんな努力を重ねて開催までたどり着いたのかという課題意識をもたせる。	・戦後日本の歩みについて関心を持ち、学習問題を考えている。 【関】	1
	どのようにして日本は、敗戦状態から立ち直っていったのだろう。《学習問題I》			
	○戦後に行なわれた改革や日本国憲法について調べる。	○日本国憲法については、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を柱として制定されたことを捉えさせるために、象徴的な写真を提示し、イメージを膨らませる。	・日本国憲法の基本的な理念について分かっている。 【知】	1
	○日本が国際社会の復帰を果たす前後の世界の動きや日本の様子について	○国際連合加盟に至るまでの世界や日本の動きを年表等で確認し、国際社会復帰の契機となる、サンフランシスコ平	・国際社会に復帰するまでの国内外の様子について分か	1

調 べ る	て調べる。	和条約や朝鮮戦争による特需などについて説明する。	っている。 【知】	1 + 課 外	
	○高度経済成長期の社会や国民生活の変化について調べる。	○「電化製品普及のグラフ」「三種の神器の写真」を手がかりとして、国民の生活が大きく向上していったことを実感させる。	・高度経済成長期の社会や国民生活の変化について、資料から読み取っている。 【技】 ・資料から読み取ったことから国民生活の変化の要因について考え、適切に表現している。 【思】		
	○国民生活の変化の要因について考える。	○若者による都市部への集団就職や政府主導のインフラ投資や企業の設備投資、所得倍増計画などの政策によって、高度経済成長が支えられたことを押さえる。 ○1930年代の国民生活をイメージさせるために映画資料を見せる。	・東京オリンピックが社会や国民生活に与えた影響について進んで調べている。 【関】		
	○東京オリンピックは社会や国民生活にどのような影響を与えたのか調べる。	○教科書や資料集、オリンピックに関わる映像から日本が多くメダルを獲得し、日本国民を勇気付けることとなったことを捉えさせる。		1	
	○東京オリンピックが日本にもたらした影響について考える。	○「なぜ、戦後間もない東京でオリンピックを開催したのか」という視点で、国民生活の変化を捉えさせる。また、オリンピックを成功させるために準備してきたことを整理させることにより、東京オリンピック開催が果たした影響について整理させる。 ○東京オリンピックを開催することで生じた負の面にも気付かせることで、本当に評価できるのかというジレンマを生じさせる。	・東京オリンピックが日本にもたらした影響について、オリンピック開催の負の面にも気が付き、課題意識をもって考え、適切に表現している。 【思】	2 本時 (7/10)	
論題 戦後19年目に東京オリンピックを開催することは日本にとってよかったのか。					
考 え ・ ま と め る	○東京オリンピックを開催したことは評価できるかどうか考える。	○「よかった」「早すぎた」という立場で自分の意見を決めさせ、その根拠となる理由を東京オリンピックが当時の日本に与えた影響から考えさせる。 ○立場を決めさせる際、当時の日本国民の立場で意思決定をさせる。	・根拠を示しながら自分の意見を考え、適切に表現している。 【思】	1	
	2020年開催の東京オリンピックは、どんなオリンピックにするべきか。《学習問題Ⅱ》				
	○2020年の東京オリンピックはどんなオリンピックにするべきかという学習問題を持ち、現代の日本が抱える問題について調べる。	○2020年に東京オリンピックが開催されることを想起させ、どんなオリンピックにするべきか考えるという意識をもたせる。オリンピック像を描かせるために現代の日本が抱える問題に気付かせる。	・現代日本が抱える諸問題を調べている。 【技】	1	
○2020年東京オリンピックはどんなオリンピックにするべきか考え、交流する。	○どんなオリンピックを開催するべきか、「国際協調」「経済発展」「環境保全」「復興」「もてなし」などの視点をもたせながら考えさせる。 ○1964年の東京オリンピックを振り返り、自分が描くオリンピック像が抱えている問題点も配慮するように促す。	・日本が抱える諸問題に配慮しながら、2020年の東京オリンピック像を考えようとしている。 【関】	1		

6 本時の目標

東京オリンピックが日本にもたらした影響について、オリンピック開催の負の面にも気付き、戦後19年目に東京オリンピックを開催することは日本にとってよかったかという課題意識をもって考えることができる。

7 展開(全10時間 本時 7/10)

学 習 活 動	教師の働き掛け (○) と評価 【】															
<p>1 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○前時までに調べたことを確認し、東京オリンピック開催が果たした役割(外国に認めてもらうためのアピールや国民の生活を豊かにすることになったか)について話し合うことを確認する。</p>															
<p>めあて 1964年の東京オリンピックは、日本にどんな影響を与えたのか考えよう。</p>																
<p>2 前時までに調べた東京オリンピックが当時の日本に与えた影響について話し合う。</p> <p>① 調べた内容を発表し、よい影響を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【期待する児童の反応】 【便利さ・豊かさの追求】 ○新幹線・首都高速・地下鉄の開通 ⇒交通網の整備 ⇒人や物の流れが迅速 ○上下水道の整備⇒住みやすさの向上 ○日本選手団の活躍 ⇒国民に自信を取り戻させる ○施設建設のための公共事業 ⇒近代化の推進、産業の発展 ⇒雇用の拡大 ○白黒テレビの普及、放送技術の進歩 ⇒国民生活の向上 ⇒全世界に向けて日本の復興をアピールできた</p> </div>	<p>○調べた内容について発表させる際、4つの視点(交通網の整備、施設の建設、下水道の整備、電化製品の普及)で整理しながら板書をする。これにより、構造的にオリンピック開催の影響について捉えやすくする。</p> <p>○よい影響の根拠が視覚的に分かるように、住みやすさや自信などを意味付けながら、表にして板書する。</p> <p>○予想される板書例</p> <table border="1" data-bbox="715 996 1439 1444"> <thead> <tr> <th>東京オリンピックまでに準備したこと</th> <th>よ い 影 響 (メリット)</th> <th>□…意味付ける言葉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通網の整備 東海道新幹線の開業 地下鉄の開通 首都高速道路の開通</td> <td>・移動時間が短くなる。(速く移動できる。) ・時間通りに動く。(移動が便利になる。)</td> <td>→住みやすさ、楽になる →東京に人が集まる</td> </tr> <tr> <td>施設の建設 スタジアム建設 競技場建設 ホテルの建設</td> <td>・約1兆円の費用が掛かっている。(景気が上がる。) ・お金が手に入るようになった。(収入が上がる。) ・多くの労働者が雇用された。(働き口が増える。)</td> <td>→収入増、住みやすさ →生活が楽になる</td> </tr> <tr> <td>下水道の整備 下水道の整備</td> <td>・町がきれいになる。(生活環境がよくなる。) ・みんなが健康になる。(衛生的な生活ができる。)</td> <td>→住みやすさ</td> </tr> <tr> <td>家電製品の普及 白黒テレビの普及</td> <td>・テレビが売れる。(産業が発達する) ・国民が嬉しくなる。(発達を自慢したくなる。) ・海外からの評価が上がる。(外国から認められる。)</td> <td>→自信が付く、自信を取り戻す</td> </tr> </tbody> </table>	東京オリンピックまでに準備したこと	よ い 影 響 (メリット)	□…意味付ける言葉	交通網の整備 東海道新幹線の開業 地下鉄の開通 首都高速道路の開通	・移動時間が短くなる。(速く移動できる。) ・時間通りに動く。(移動が便利になる。)	→ 住みやすさ 、 楽になる → 東京に人が集まる	施設の建設 スタジアム建設 競技場建設 ホテルの建設	・約1兆円の費用が掛かっている。(景気が上がる。) ・お金が手に入るようになった。(収入が上がる。) ・多くの労働者が雇用された。(働き口が増える。)	→ 収入増 、 住みやすさ → 生活が楽になる	下水道の整備 下水道の整備	・町がきれいになる。(生活環境がよくなる。) ・みんなが健康になる。(衛生的な生活ができる。)	→ 住みやすさ	家電製品の普及 白黒テレビの普及	・テレビが売れる。(産業が発達する) ・国民が嬉しくなる。(発達を自慢したくなる。) ・海外からの評価が上がる。(外国から認められる。)	→ 自信が付く 、 自信を取り戻す
東京オリンピックまでに準備したこと	よ い 影 響 (メリット)	□…意味付ける言葉														
交通網の整備 東海道新幹線の開業 地下鉄の開通 首都高速道路の開通	・移動時間が短くなる。(速く移動できる。) ・時間通りに動く。(移動が便利になる。)	→ 住みやすさ 、 楽になる → 東京に人が集まる														
施設の建設 スタジアム建設 競技場建設 ホテルの建設	・約1兆円の費用が掛かっている。(景気が上がる。) ・お金が手に入るようになった。(収入が上がる。) ・多くの労働者が雇用された。(働き口が増える。)	→ 収入増 、 住みやすさ → 生活が楽になる														
下水道の整備 下水道の整備	・町がきれいになる。(生活環境がよくなる。) ・みんなが健康になる。(衛生的な生活ができる。)	→ 住みやすさ														
家電製品の普及 白黒テレビの普及	・テレビが売れる。(産業が発達する) ・国民が嬉しくなる。(発達を自慢したくなる。) ・海外からの評価が上がる。(外国から認められる。)	→ 自信が付く 、 自信を取り戻す														
<p>② 東京オリンピック開催による問題点があったことに気付く。</p> <p>3 資料から問題点を調べ、東京オリンピックが日本に与えた影響について再度話し合う。</p> <p>① 小集団で問題点がないのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小集団ごとに、「交通網の整備」、「施設の建設」、「下水道の整備」、「電化製品の普及」の4項目の中から指定された項目を中心に調べる。 小集団で、「どうして問題点になる 	<p>○問題点に気付かせるために、大気汚染により空が霞み、広く整備された道路には自動車の渋滞が起きている写真を提示し、写真から分かることを問い掛ける。</p> <p>○ここでは、児童の思考活動を重視しているので、資料については、新聞記事や本などから、教師が選定しておく。</p> <p>○小集団ごとに、「交通網の整備」、「施設の建設」、「下水道の整備」、「電化製品の普及」の4項目の中から重点的に調べる項目を指定する。これにより、調べたことを学級全体で共有する必然性をもたせる。また、調べる時間の短縮を図る。</p> <p>○児童が、問題点だと考える際に、「このようなことが起こるかもしれない」という予想になることが考えら</p>															

のか」を確認させながら調べる。

【期待する児童の反応】

発展優先の弊害

- 都市部への人口の集中
(住宅、交通問題)
⇒スモッグや交通事故の増加
などの問題
⇒農村部の衰退
⇒都市部と農村部の格差拡大
- 急激な産業の発達による環境問題
⇒工場の増加に伴う、大気汚染、
水質汚濁
- 急激な経済成長にともなうインフレ
⇒恒常的な物価の高騰

② 小集団ごとに調べたことを発表し、
学級全体で共有する。

③ 共有した問題点が、何を表している
のかを話し合う。

4 よい影響と問題点を比較し、社会的な
問題に気づき、論題をもつ。

社会的な問題(研究や論争となる事件)

日本が戦後復興のために、発展を優先
させ、戦後19年で東京オリンピックを
開催したこと

論題 戦後19年目に東京オリンピックを開催することは日本にとってよかったのか。

5 振り返りのポイントを基に、自分の考
えを書く。

振り返りのポイント

論題に対する自分の考えとその理由

- ①「よかった」か「早すぎた」か
- ②そう考えた理由

れる。予想でもよいことを指示するが、資料のどの部
分から予想されたのかを小集団で確認させておく。

○予想される板書例

東京オリンピックまでに準備したこと		問題になる影響(デメリット)	□…意味付ける言葉
の交通 整備	東海道新幹線の開業	・排気ガスで空気が汚れる。(大気汚染) ・交通渋滞や交通事故が多くなる。(命の危険) → 環境の悪化(公害・スモッグ) → 命を脅かす危険	
	地下鉄の開通		
	首都高速道路の開通		
施設 の建 設	スタジアム建設	・仕事を求めて東京に人口が集中する。(農村の過疎化) ・都市部と農村部の格差拡大。(農村部の衰退)→農作業への心配 ・物の値段が高くなる。(インフレによる物価の高騰) → 生活が苦しくなる人が出る。(東京だけがよくなる不平等さ)	
	競技場建設		
	ホテルの建設		
下 水道 の 整備	下水道の整備	・ごみは増える。(ごみ処理問題)	
家 電 製 品 の 普及	白黒テレビの普及	・東京へのあこがれから、東京の過密化。 (交通渋滞や住宅不足が起こる。) ・大気汚染がひどくなる。(ごみの処理ができなくなる。) → 環境の悪化 、 命を脅かす危険	

○よい影響と比較できるように、よい影響と並べた表に
して板書する。

○環境の悪化や命を脅かす危険があるなど、意味付けを
しながら板書に書き加えていく。

○東京オリンピック開催の影響について総合的に考えさ
せるために、よい影響と問題点を意味付けした言葉で
確認することで、戦後の復興を急いだことや発展を優
先させたことを捉えさせる。また、これらの弊害とし
て、環境の悪化や地域間の格差が生まれたことを捉え
させる。これらを比較させることで、社会的な問題
を見いだし、終戦から19年が早すぎたのではという考
えから、論題を導き出したい。

○東京オリンピックがもたらした光と影(よい影響と問題
点)の部分に着目させて、本時の振り返りをさせる。

【評価】

○発展優先の弊害に意識が流れすぎるときには、「東京
オリンピックが開催されていなかったら、どうなって
いたか」と問い掛け、東京オリンピック開催が果た
した役割に立ち戻らせて、よい影響と問題点の両面につ
いて考慮するように促す。

○単元の後半を見据え、2020年の東京オリンピックが開
催されるに当たり、本時の学習で考えたことは現在で
も必要な問題であることを意味付けておく。

8 本時の評価

単元の 評価規準	戦後、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことや、現代が抱える諸問題について思考・判断したことを、言語などで適切に表現している。 (社会的な思考・判断・表現)		
本時の 評価規準	東京オリンピックが日本にもたらした影響について、オリンピック開催の負の面にも気付き、戦後19年目に東京オリンピックを開催することは日本にとってよかつたかという課題意識をもって考えたことを、適切に表現している。 (社会的な思考・判断・表現)		
判定基準 (判断のめやす)	「十分満足できる」状況(A)	「おおむね満足できる」状況(B)	「努力を要する」状況(C)
	東京オリンピックの光と影の両面から振り返り、オリンピック開催の是非について考えたことを記述している。	東京オリンピックの光と影どちらか一方の面から振り返り、オリンピック開催の是非について考えたことを記述している。	(B)に達していない児童
→(B)、(C)と判断した児童への支援策		→捉えきれていない面にも着目させるために、板書を基に考えさせ、付け加えさせる。	→ワークシートや板書を共に振り返り、メリットまたはデメリットを根拠として判断させる。
評価方法	ワークシートの記述		